

スウェーデンの日本産食品の消費事情

基本情報

		スウェーデン	(日本)
人口	(千人)	10,395	125,500
GDP	(10億米ドル)	538	5,065
一人当たり 名目GDP	(米ドル)	51,796	40,113
在留邦人数	(人)	4,476	-
進出日系企業	(社)	129	-
主要都市人口		ストックホルム(首都) : 98万人 ヨーテボリ : 58万人 マルメ : 34万人	

資料: ジェトロHP、外務省、総務省、スウェーデン政府
(2022年4月確認)

注: 数値は、参照時期や為替レートの関係で変動するため、概算値。

スウェーデンのスーパーマーケット におけるアジア食品の販売の様子



日本からの食品輸出

2021年輸出額(千円)	
1	ソース混合調味料 94,794
2	清酒 82,383
3	醤油 64,446
4	清涼飲料水 41,910
5	マヨネーズ 35,772
6	味噌 35,168
7	ウイスキー 30,997
8	食酢 26,170
9	ナット調整品 24,926
10	リキュール 18,463
11	ビール 15,765
12	スープ ブロス 13,112
13	果実 13,023
14	緑茶 11,890
15	ごま油 8,611

資料: 財務省貿易統計



<最近人気・話題の日本産などの食品>

・簡単に食べられる日本食品

フリーズドライ食品や缶詰等は、日本の味の再現性の高さや簡便さから、拡大の可能性有り。

コロナ禍の影響から、自宅で調理する市民が増えアジア食の需要が伸びたことなどから、新たにタイ系のアジア食材店が市内中心部に3店舗オープンし、日本食品も取り扱っている。焼きそば、焼きそばソース、ラムネなどが人気。

・テイクアウト用お寿司

大手スーパーマーケットでは英国のような寿司を店舗内で握り販売するコーナーが増加。

・麺類全般

日本産麺類は、アジア系小売店にて、中国系やベトナム系の富裕層を中心に、高価格でも好調。現地系スーパーマーケットでは、小麦系麺類だけでなく、グルテンフリー対応のこんにゃくいも、コメ、海藻を利用した麺類も人気。

・インスタントの麺類

総じて販売は好調であり比較的高価なカップラーメン(焼きそば・ヌードルスープ)が大人気。

・お菓子・ジュース類

どら焼き、もち、ゼリー、グミ、日本の洋風菓子等の人気が高い。EU規制対応と賞味期限の長期化が重要。また、日本産ジュースは味だけではなく瓶の美しさからも評価が高く、大人気。

・ソース類全般

飲食店では調理時に使用しやすい形状の甘い味のものが良く好まれる。アジア系食材店ではポン酢などの酸味の効いたソースが人気。

・グルテンフリー、ベジタリアン、ビーガン向け商品

注: 現地聞き取り参考情報

フィンランドの日本産食品の消費事情

基本情報

		フィンランド	(日本)
人口	(千人)	5,534	125,500
GDP	(10億米ドル)	275	6,065
一人当たり 名目GDP	(米ドル)	49,845	2,517
在留邦人数	(人)	2,005	-
進出日系企業	(社)	212	-
主要都市人口		ヘルシンキ(首都) : 66万人 エスポー : 29万人 タンペレ : 24万人	

資料: ジェトロHP、総務省、外務省、フィンランド政府
(2022年4月確認)

注: 数値は、参照時期や為替レートの関係で変動するため、概算値。

フィンランドのスーパーマーケット
で販売されている日本産牛肉



＜フィンランドの日本産食品に対するニーズ＞

- ・一目で味が想像できる商品であると良い。
- ・真空パックの総菜のように調理が不要・簡便であると良い。慣れない食品のため、調理法・利用方法が簡潔に書かれた英文が商品に付随しているとなお良い。
- ・味を追求した高品質・高価格な商品よりも、「日本食を試しに買ってみる」ことを誘導できる程度の価格帯が望ましい。
- ・SDGsを意識し環境に配慮した包装が良く、プラスチック包装はできるだけ避けたほうが望ましい。

フィンランドのスーパーマーケット
で販売されている日本産ほたて



注: 現地聞き取り参考情報

日本からの食品輸出

2021年輸出額(千円)		
1	精米	56,942
2	清涼飲料水	28,495
3	ソース混合調味料	14,367
4	醤油	11,553
5	清酒	9,380
6	即席麺	3,336
7	ごま	3,019
8	食酢	2,734
9	ナット調整品	1,796
10	インスタントカレー	1,639
11	ウスターソース	1,026
12	うどん・そうめん・そば	868
13	緑茶	851
14	ビール	824
15	スープ ブロス	622

資料: 財務省貿易統計

＜最近人気・話題の日本産などの食品＞

- ・照り焼きソース
鮭や鶏肉の照り焼き用。中華系小売店中心に業務用商品を販売。
- ・インスタント食品(麺類、味噌汁、レトルトカレーなど)
- ・ベジタリアン、ビーガン、グルテンフリー食品
ハンバーグ用の植物性代替肉やグルテンフリー小麦粉、白滝ヌードル、コンニャクヌードルなどが人気。
- ・緑茶
主にお寿司屋さんで緑茶ペットボトルの売上が良好。
- ・抹茶製品
抹茶ラテを提供するカフェの増加やスーパーマーケットでの抹茶チョコレートの販売などが起因し認知がされてきている。
- ・柚子を使用した食品

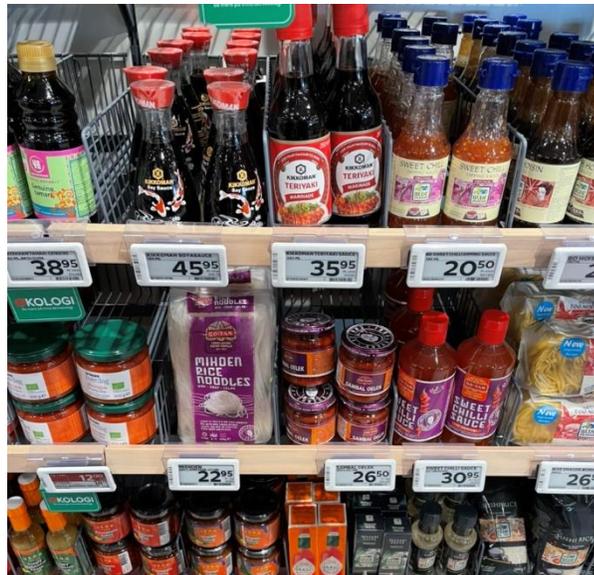
注: 現地聞き取り参考情報

デンマークの日本産食品の消費事情

基本情報

		デンマーク	(日本)
人口	(千人)	5,843	125,500
GDP	(10億米ドル)	352	5,065
一人当たり 名目GDP	(米ドル)	60,494	40,113
在留邦人数	(人)	1,569	-
進出日系企業	(社)	92	-
主要都市人口		コペンハーゲン(首都) : 80万人 オーフス : 34万人 オールボー : 21万人	

資料: ジェトロHP、総務省、外務省、デンマーク政府(2022年4月確認)
注: 数値は、参照時期や為替レートの関係で変動するため、概算値。



日本からの食品輸出

2021年輸出額(千円)		
1	ぶり	132,878
2	ほたて	91,919
3	醤油	76,862
4	清涼飲料水	66,450
5	マヨネーズ	55,044
6	ドレッシング	36,276
7	ロイン(牛肉)	25,966
8	鯉	21,034
9	食酢	17,557
10	ナット調整品	15,765
11	味噌	14,174
12	果実ジュース	12,401
13	野菜の種	11,700
14	スープ ブロス	11,308
15	清酒	9,653

資料: 財務省貿易統計

<日本産食品事情>

・日本食全般

日本食取扱店舗(レストランを含む)は首都コペンハーゲンに集中。主要都市には現地系スーパーの一面に日本食セクションや日本食専門店があるなど日本食が幅広く普及している。郊外の現地系スーパーなどでは主に調味料やめん類が販売されている。価格帯は日本の約3倍程度。2020年、コペンハーゲンに生活雑貨、食材等を扱う日系ストアの旗艦店がオープン、PB商品以外の日本食材も取り扱う。

・調味料

醤油、お酢、味噌、料理酒、みりん、マヨネーズなど和食向け調味料が人気。現地の日本食を出す居酒屋や日本人駐在員向けに需要がある。

・日本酒、日本茶、抹茶製品

日本酒、日本茶専門店が相次いで開店。日本酒、日本茶イベントも行われるようになっている。抹茶ラテなどよくみられるようになり、スーパーでは抹茶パウダーが販売されている。

・麺類

家庭用に袋麺、カップラーメンがある他、うどんやそばも人気。また、各地にラーメン屋が数店舗あり、日本食はたとえラーメンであっても健康に良いというイメージが強く人気。

・米

デンマーク人は炊きたての粘り気がない米が好み。

注: 現地聞き取り参考情報